



公益財団法人かながわ考古学財団 平成 25 年度考古学特別研究講座

— 報告書の成果から導き出されるもの① —



三浦半島の考古学

公益財団法人かながわ考古学財団 調査研究部調査課

- ・新開基史「矢ノ津坂遺跡に見る三浦半島の弥生時代」
- ・松葉 崇「三浦半島のやぐら」

2013(平成25)年9月14日(土) 10:00~12:00/13:30~15:30

神奈川県埋蔵文化財センター 研修室



地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業

ごあいさつ

公益財団法人かながわ考古学財団は、文化財保護法の趣旨が生かされるよう、神奈川県内の発掘調査を行うとともに、その調査成果を広く公開し皆さまが活用できるようにすることにより、学術・文化の振興と地域文化の発展に寄与することを目的として活動しています。当財団は1993(平成5)年10月21日に神奈川県によって財団法人として設立されましたが、2011(平成23)年3月31日に県主導の第三セクターから離れ、同年4月1日に公益財団法人に移行しました。

今回、初めて開催いたします考古学特別研究講座は、これまで発掘調査を行った県内各地の遺跡について、その調査結果をまとめた報告書の成果から導き出された地域の歴史像を研究し皆さまに御提示することで、埋蔵文化財に対する興味・関心とご理解をより深めていただくことを目的とするものです。いわば当財団の調査研究の集大成とも言うべき普及事業です。第一回目として一日のうちに同じ内容の報告を午前と午後に行うことで、より多くの参加者の方々にお集まりいただくことを試みました。

テーマとしては、温暖で豊かな三浦半島の歴史を取り上げました。設立20年という歴史の浅い調査機関であり、三浦半島の歴史を語り尽くす力は到底ありませんが、皆さまのご高評を仰ぎながら新たな研究講座として育ててまいりたいと思いますので、ご支援のほど、よろしく願いいたします。

最後になりましたが、当財団の事業に関して、ご指導、ご協力を賜りました関係諸機関・諸氏と県民の皆さまに、お礼を申し上げます。

2013(平成25)年9月

公益財団法人かながわ考古学財団
理事長 村山正和